

数学って
学ぶ意味ある？

そんなあなたの疑問に
3人のエキスパートがお答えします！

智翠館特別コース企画 探究スペシャル第6弾

9月22日(月)14:30~15:20

内容:「数学」は人と社会をどう変えていくのか!?



高橋先生



本日の講師

九州大学大学院

マス・フォア・イノベーション関係学院

前原将太さん



生徒代表

〇〇くん



今回は卒業生で、九州大学大学院マス・フォア・イノベーション連携学府に在籍しておられる前原将太さんにお越しいただき、「『数学』は人と社会をどのように変えていくのか？」というテーマでお話をさせていただきました。

大学や大学院でどのようなことを勉強されているのか、また、失敗をしても努力をすることで見える未来があるということなど多くのことを生徒に伝えてくださいました。そして、生徒からの質問に親身になって答えてくださり、生徒にとっても教員にとっても学びのある1時間になりました。

2年生の〇〇君は、論理的思考力で高校生に必要なものとして、 $1+1$ の例を出して説明してくれました。そして、数学には、2種類あるという話もありました。皆さんは、何種類あると思いますか。



生徒の感想よい...

今回の講演で大学院のしくみや現在、実際に行われている研究についてなど、様々な見解を得ることができました。前原さんが作成された論文を一通り目を通してみましたが、本当に驚かされることばかりで、数学への愛がひしひしと伝わってきました。難しい公式を使いこなせている時点で素晴らしいし、カッコいいなと憧れを抱きました。私事ですが、大学を卒業した後は将来の夢を目指すべく、大学院に進学しようと決めています。私生活や奨学金について少し不安を抱いていましたが、お話を聞いて、少し希望が湧きました。現在、数IAを習っていますが、中学校の頃と比べて桁違いの難易度で少し苦戦しています。模試でも他の教科と比べて、偏差値が低いのが現状です。昔から数学への苦手意識が強く、なかなか脱却できていませんでした。ですが、最近は少しずつ変わろうと努力をしています。

生徒の感想よい・・・

今回は授業を行っていただきありがとうございました。ぼくは、前原さんの論文を目にしたとき自分には百年早いのかなと感じたけれど、いつかはほんの少くらは理解できるようになりたいと思いました。前原さんは自分がしたいことを探求するために大学院に行かれたというお話を聞き、人生で自分の調べたいことを調べ尽くせるのはこの大人までの時期だけなのだと思ったから、僕もやりたいことを見つけて探求していきたいなと思いました。ぼくは、今まで数学を言語として用いるという考え方を持ったことがなかったけれど、数学も言語のひとつなんだと思って解くことでより数学を楽しく解けるのかなと思いました。今回のお話を聞き、何事もやらずに逃げるのはもったいないと感じたのでいろいろなことにチャレンジしてみたいです。

私は数学に苦手意識を持っていて、今日の探求スペシャルもそんなに乗り気ではなかったのですが、前原さんの数学に対する考えを聞いて、ただの「難しい」学問ではないんだなと思い、数学に対する意識が少し変わりました。わたしはどんな問題を解くときでもわからなさそうだったらすぐ答えを見てしまい、「考える」ことから逃げようとしてしまうので忍耐力をつけるためにも自分の頭で考えることを努力しようと思いました。ありがとうございました。

前原さんへ・・・

本日は私たちのためにわざわざお越し下さりありがとうございました。今回の探究SPにおいて、数学により興味深くなり、数学がとても楽しい学問であると気付かされ、数学がより好きになりました。2次元多数配置の指数の決定についての論文の内容は理解できませんでした。ごめんなさい。

感想・・・

わかりにくいことだらけだったけれど、聞いてみたらとても興味深くて、数学に関する楽しみが増えたように思います。これから科学の甲子園(?)、数学オリンピック、数学検定とたくさん数学に触れますが、数学が今回の探究SPよりも楽しいと思えるようになりたいです。